

第 3 2 回建設業経理士検定試験 2 級試験問題

< 第 4 問 >

問 2 20×2 年 9 月の工事原価に関する次の<資料>に基づいて、当月（9 月）の完成工事原価報告書を完成しなさい。また、工事間接費配賦差異勘定の月末残高を計算しなさい。なお、その残高が借方の場合は「A」、貸方の場合は「B」を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

<資料>

1. 当月の工事状況（収益の認識は工事完成基準による）

工事番号	No.701	No.801	No.901	No.902
着工	7 月	8 月	9 月	9 月
竣工	9 月	9 月	9 月	12 月（予定）

2. 前月から繰り越した工事原価に関する各勘定残高

（1）未成工事支出金（単位：円）

工事番号	No.701	No.801
材料費	218,000	171,000
労務費	482,000	591,000
外注費	790,000	621,000
経 費	192,000	132,000
合 計	1,682,000	1,515,000

（2）工事間接費配賦差異 甲部門 ￥5,600（借方残高）

乙部門 ￥2,300（貸方残高）

（注）工事間接費配賦差異は月次においては繰り越すこととしている。

3. 当月における材料の棚卸茜受払に関するデータ（材料消費単価の決定方法は先入先出法による）

日付	摘要	数量（Kg）	単価（円）
9 月 1 日	前月繰越	800	220
9 月 2 日	No.801 工事に払出	400	
9 月 5 日	X 建材より仕入	1,600	250
9 月 9 日	No.901 工事に払出	1,200	
9 月 15 日	No.701 工事に払出	600	

< 第4問の解説 >

問2

■まず、資料3より、各工事の直接材料費を計算します。

9月1日	在庫	: @220×800 kg	
9月2日	No.801	: @220×400 kg	= ￥88,000
	在庫	: @220×400 kg	
9月5日	在庫	: @220×400 kg、@250×1,600 kg	
9月9日	No.901	: @220×400 kg + @250×800 kg	= ￥288,000
	在庫	: @250×800 kg	
9月15日	No.701	: @250×600 kg	= ￥150,000
	在庫	: @250×200 kg	
9月22日	在庫	: @250×200 kg、@180×1,200 kg	
9月26日	No.901	: @250×200 kg + @180×200 kg	= ￥86,000
	在庫	: @180×1,000 kg	
9月27日	No.902	: @180×500 kg	= ￥90,000
以上より、	No.701	￥150,000	
	No.801	￥88,000	
	No.901	￥288,000 + ￥86,000	= ￥374,000
	No.902	￥90,000	

完成工事原価報告書に記載する材料費は、完成した工事の分だけですので、No.902 は含みません。

資料2の未成工事支出金を加えて、報告書に記載する材料費は、
 $¥150,000 + ¥88,000 + ¥374,000 + ¥218,000 + ¥171,000 = ¥1,001,000$
となります。

■労務費と外注費については、資料2、資料4より、

労務費

$¥482,000 + ¥591,000 + ¥450,000 + ¥513,000 + ¥819,000 = ¥2,855,000$

外注費

$¥790,000 + ¥621,000 + ¥1,120,000 + ¥2,321,000 + ¥1,523,000 = ¥6,375,000$

となります。

- 経費について、資料5より工事間接費を求めます。報告書には、工事が完成していないNo.902を含めないことに注意しましょう。

甲部門

No.701	：	¥ 150,000	×	3%	=	¥ 4,500
No.801	：	¥ 88,000	×	3%	=	¥ 2,640
No.901	：	¥ 374,000	×	3%	=	¥ 11,220
No.902	：	¥ 90,000	×	3%	=	¥ 2,700
甲部門合計	：	¥ 21,060				

乙部門

No.701	：	15 時間	×	¥ 2,200	=	¥ 33,000
No.801	：	32 時間	×	¥ 2,200	=	¥ 70,400
No.901	：	124 時間	×	¥ 2,200	=	¥ 272,800
No.902	：	29 時間	×	¥ 2,200	=	¥ 63,800
乙部門合計	：	¥ 440,000				

資料2、資料4ともあわせて、

No.701	：	¥ 192,000 + ¥ 290,000 + ¥ 4,500 + ¥ 33,000 = ¥ 519,500				
No.801	：	¥ 132,000 + ¥ 385,000 + ¥ 2,640 + ¥ 70,400 = ¥ 590,040				
No.901	：	¥ 302,000 + ¥ 11,220 + ¥ 272,800 = ¥ 586,020				
合計	：	¥ 1,695,560 となります。				

- 工事間接費配賦差異勘定の月末残高について

資料2より、月初の時点で	甲部門	¥ 5,600 (借方残高)
	乙部門	¥ 2,300 (貸方残高)

資料5と上記の計算結果より、当月の配賦差異は、

甲部門：	実際 ¥ 20,000	－	予定 ¥ 21,060	=	△ ¥ 1,060 (貸方残高)
乙部門：	実際 ¥ 441,000	－	予定 ¥ 440,000	=	¥ 1,000 (借方残高)

月末時点で

甲部門：	¥ 5,600 (借方残高)	－	¥ 1,060 (貸方残高)	=	¥ 4,540 (借方残高)
乙部門：	¥ 2,300 (貸方残高)	－	¥ 1,000 (借方残高)	=	¥ 1,300 (貸方残高)

あわせて、¥ 3,240 の借方残高となります。